

昭和49年度第3回通常総会議事録

日 時：昭和49年4月27日（土）午後1時～2時
場 所：文京区民センター3A会議室（東京都文京区本郷4-15-14）
出席者：小野勝次他608名（内委任状による出席者575名）

上記のとおり出席者が定款に定める定足数に達したので、定款第28条により、小野勝次会長が議長となり、議事録署名人に真壁 肇、森清 堯の両氏を選出して議事にはいる。

第1号議案 昭和48年事業報告の件

横井理事が昭和48年度事業報告（別紙）を行ない、異議なく承認された。

第2号議案 昭和48年度決算報告の件

横山副会長が昭和48年度収支決算報告（別紙）を行ない、異議なく承認された。

第3号議案 昭和49年度事業計画の件

横井理事が昭和49年度事業計画（別紙）を説明し、原案のとおり承認された。

第4号議案 昭和49年度予算の件

横山副会長が昭和49年度収支予算（別紙）を説明し、原案のとおり承認された。

第5号議案 昭和49年度役員選任の件

昭和49年度の役員を別紙のとおり選出した。

第6号議案 昭和49年度評議員選任の件

昭和49年、50年の評議員を別紙のとおり選出した。

以上で総会の議事を終了し、議長は閉会を宣した。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

昭和49年4月27日

議 長 小 野 勝 次[㊟]

議事録署名人 森 清 堯[㊟]

議事録署名人 真 壁 肇[㊟]

1. 昭和48年度事業報告書

1. 研究発表会

(1) 4月7日、8日の両日慶応義塾大学工学部において第33回研究発表会を開催し、翌4月9日は鉄道技術研究所・CVS村山実験場を見学し、都市のORについて知識を深めた。

特別テーマ 都市のOR 10件

特別講演 1件

一般発表 41件

(2) 11月7日、8日の両日九州電気ビル（福岡市）において、第34回研究発表会を開催し、翌11月9日九州大学大型計算機センター・日本電信電話公社天神電報電話局データ通信センターを見学した。

特別テーマ 国民の福祉増進のためのOR

11件

特別講演 3件

九州の実例 10件

一般発表 48件

2. 総 会

(1) 定期総会

4月7日慶応義塾大学工学部において、総会を開いた。

(2) 臨時総会

11月7日九州電気ビルにおいて、臨時総会を開いた。

3. 理 事 会

昭和48年2月1日より昭和49年2月28日の7回開催した。

4. 各 委 員 会

編 集 委 員 会 6回 研究普及委員会 6回

組 織 強 化 委 員 会 5回 大会実行委員会 7回

IAOR 委 員 会 10回 広 告 委 員 会 6回

5. 国 際 協 力

(1) IAOR (International Abstract in Operations Research) 誌の発行に協力し、IAOR のために国内頒布を行なった。

(2) 1975年のオペレーションズ・リサーチ合同国際会議の日本開催にともない準備を進めた。

(詳細別記)

6. 刊行物

「経営科学」第17巻2・3・4・5・6号, 第18巻1号, および「JORSJ」Vol. 16 No.1・2・3・4号を発行した。

7. 研究会活動

下記の研究部会が活発な研究活動を行なった。
探索理論, 都市システム解析, ORにおける統計的方法, 中小企業のためのOR, システム・ダイナミックスの計5部会が活動した。
なお, 中小企業のためのOR, システム・ダイナミックスの2部会を残し, 他3部会は48年度でその活動を終了した。

研究部会活動一覧表

部会名	主幹	査事	メンバー出席者	研究会	内 容	場 所
探索理論	岸 井		7~8名	月2回	文献紹介, 研究発表 文献抄録作成	都 勤 労 福 社 会 館
ORのための統計的方法	竹 関	内 谷	26名	月1回	企業における実例の 報告討議 新手法の紹介	同和火災海 上会議室
都市システム解析	伊 藤	藤 田	9名	月1回	「都市と老人」という 視点から成熟社会に 適合した自律型都市 形成システムの分 析, 設計を行なっ ている。	東 洋 経 済 新 報 社
中小企業のためのOR	伊 藤	部	21名	月1回	具体的な研究課題の 選別, 選定, 研究方 法の討議 文献調査	清水建設計 算センター 干 業 工 学 大
システムダイナミックス	島 田	木 村	24名	月1回	メンバーが行なった 事例研究の検討 SDの意義, 解明を 要する問題点 SDの限界等の研究	明治大学大 学院第2会 議室

8. 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

(1) 第1回日本オペレーションズ・リサーチ学会
文献賞は下記に対し授与された。

“相補助プログラミング”

京都大学 茨木俊秀

(2) 第2回日本オペレーションズ・リサーチ学会
文献賞の選考を行なったが該当者はなかった。

9. 普及活動

(1) OR 金曜サロンを研究普及委員会の主催で,
ランダムに選ばれた会員とORに関するテーマ
を決めて話しあい, 記録を「経営科学」に掲載
した。

(2) 月例講演会を以下のとおり行なった。

- 3月 スケジュールングの展望 (本部)
山本 正明
- 4月 OR とグラフィック (本部)
高沢 嘉光
- 5月 探索理論と概観 (〃)

岸 尚

- 6月 モデルとデータと計算機(東北支部) 森口 繁一
- 7月 Fussy Graph について (中国・四国支部) 西田 俊夫
- 8月 公共経済学の展望 (中部支部) 水野 正一
- 9月 クラスタ分析における階層的手法と目的関数 古林 隆
- 10月 コンピュータ利用とORの関係 (本部) 河野 忠義
- 12月 企業経営および行政とOR (北海道支部) 矢部 真
- 1月 ソ連のORのトピックス (本部) 坂本 実
- 2月 数式を使わないOR (〃) 吉田 正昭

(3) OR学会だよりを毎月1回会員に送った。

10. 支部活動

支部活動報告書

	北海道	東 北	中 部	関 西	中国・四 国	九 州
運営会議	2回	支部総会1回 運営委員会2回	支部総会1回 評議会1回 幹事会5回	支部総会1回 運営委員会2回	支部総会1回 役員会1回 幹事会7回	支部運営会議2回 秋季発表会準備4回 支部総会1回
研究会	2回	3回	9回	OR研究講演会7回	3回	九州OR共同研究会4回 福岡地区OR研究会4回
講習会	講師派遣2回 各1名					
講演会	1回	2回	3回	1回	3回	
出版			支部研究発表会アブストラクト集 中部ORノート 中部支部ニュース			
その他	他講演会に受講者派遣2回 延16名	幹事会2回 懇親会2回 見学会1回	台宿勉強会1回 懇親会1回 懇親ハイキング2回		見学会1回	

11. 研究調査受託

- a) テーマ 「OR手法による都市問題解析型シミュレーション・モデルに関する調査・研究」
依頼者 情報処理研修センター

b) テーマ 「1980年代における日本人の生活条件の予測」

依頼者 日本放送協会

上記それぞれのテーマについて、委員会を設け研究を行ない報告書資料をまとめた。

東 北	47	1	2
中 部	106	10	15
関 西	207	23	15
中 国・四 国	97	2	8
九 州	41		5
合 計	4	1,550	167

12. 会員情况

	名誉会員	正 会 員	学生会員	賛助会員
1973年2月末	5	1,452	131	119
1973年度入会		184	76	12
1973年度移行		25	-25	
1973年度退会	1	-60	-1	8
1973年度整理		-54	-14	
1974年2月末	4	1,550	167	123

	名誉会員	正 会 員	学生会員	賛助会員
本 部	4	1,016	128	75
北 海 道		36	3	3

13. オペレーションズ・リサーチ合同国際会議

- (1) 準備組織を結成し、諸活動を推進した。
- (2) 「経営科学」の国際会議特集号の発行に協力した。
- (3) 「OR学会だより」に国際会議ニュースを掲載した。
- (4) プログラムの概要を紹介し、論文募集の公告をした。
- (5) *OR in Japan* の編集に着手した。
- (6) 募金委員会を組織し、活動を開始した。

2. 昭和48年度決算報告書

1. 貸借対照表

昭和49年2月28日現在

借 方			貸 方		
科 目	期 首	期 末	科 目	期 首	期 末
I 流動資産			I 流動負債		
現金	474,405	255,131	預り金	0	378,442
振替貯金	326,373	184,160	未払金	64,156	1,460,377
当座預金	658,737	1,179,280	前受金	5,121,415	7,810,352
普通預金	6,094,527	4,102,390	<合計>	5,185,571	9,649,171
未収金	522,160	4,513,400	II 引当金		
<合計>	8,076,202	10,234,361	退職手当引当金	1,171,450	1,504,110
II 固定資産			<負債合計>	6,357,021	11,153,281
定期預金	5,000,000	6,500,000	III 基本金		
保証金	2,758,040	0	基本財産	5,000,000	5,000,000
備品	678,400	690,880	別途積立金	3,756,306	3,756,306
敷金	0	641,760	当期運営残	0	△723,019
<合計>	8,436,440	7,832,640	前期繰越金	399,363	399,363
資産合計	16,512,642	18,067,001	<基本金合計>	9,155,669	8,432,650
			<負債及び基本金合計>	15,512,690	19,585,931
			IV 特別会計		
			IFORS基金	999,952	△1,518,930
			<合計>	999,952	△1,518,930
<借方合計>	16,512,642	18,067,001	<貸方合計>	16,512,642	18,067,001

2. 財産目録

[2] 資産の部

昭和49年2月28日現在

[1] 総括表

区 分	基本財産	運用財産	合 計
資産合計	5,000,000	13,067,001	18,067,001
負債合計	0	11,153,281	11,153,281
差引残高	5,000,000	1,913,720	6,913,720

科 目	摘 要	基本財産	運用財産	合 計
現金		0	255,131	255,131
振替貯金		0	184,160	184,160
当座預金	第一勧業銀行八重州口支店	0	1,088,468	1,088,468
	住友銀行白山支店	0	90,812	90,812
普通預金	第一勧業銀行八重州口支店	0	3,617,845	3,617,845
	住友銀行白山支店	0	484,545	484,545
定期預金	住友銀行白山支店	5,000,000	0	5,000,000

第一勧業銀行 八重州口支店 <預貯金小計>	0	1,500,000	1,500,000
未収金	0	4,513,400	4,513,400
敷金	0	641,760	641,760
備品	0	690,880	690,880
<合計>		5,000,000	13,067,001

〔3〕 負債の部

科 目	摘 要	基本財産	運用財産	合 計
預り金		0	378,442	378,442
未払金		0	1,460,377	1,460,377
前受金	主として会費 前受金	0	7,810,352	7,810,352
退職手当 引当金	当学会退職規 定による	0	1,504,110	1,504,110
<合計>		0	11,153,281	11,153,281

注：資産および負債の「科目」は貸借対照表の科目名を示す。

3. 収支決算書

自 昭和48年3月1日
至 昭和49年2月28日

〔1〕 総括表

区 分	歳 入	歳 出	差引残高
一般会計	19,031,397	19,754,416	△ 723,019
特別会計	999,952	2,518,882	△1,518,930
合 計	20,031,349	22,273,298	△2,241,949

〔2〕 一般会計

歳入の部

科 目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
I 会費収入				
正会員会費	6,300,000	6,037,687	△ 262,313	
学生会員会費	432,000	381,100	△ 50,900	
賛助会員会費	8,000,000	7,735,000	△ 265,000	
入会金	370,000	224,000	△ 146,000	
<計>	15,102,000	14,377,787	△ 724,213	
II 事業関係収入				
会誌頒布収入	720,000	1,374,600	654,600	
資料等頒布収入	374,000	489,320	115,320	
IAOR収入	252,000	211,100	△ 40,900	
研究発表会収入	972,000	809,000	△ 163,000	
講演会参加料収入	220,000	0	△ 220,000	
<計>	2,538,000	2,884,020	346,020	
III その他収入				
広告掲載料収入	1,572,000	1,024,384	△ 547,616	
預貯金利子	420,000	438,039	18,039	
雑収入	250,000	226,827	△ 23,173	
<計>	2,242,000	1,689,250	▽ 552,750	
<当期歳入合計>	19,882,000	18,951,057	△ 930,943	
退職金取崩し	0	80,340	80,340	
<計>	0	80,340	80,340	
<歳入合計>	19,882,000	19,031,397	△ 850,603	

歳出の部

科 目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
I 事業費				
1. 研究発表会				
大会開催費	730,000	971,445	241,445	
大会関係印刷費	720,000	575,750	△ 144,250	
<計>	1,450,000	1,547,195	97,195	
2. 学会誌等刊行費				
経営科学	2,580,000	2,657,713	77,713	
JORSJ	1,560,000	1,585,009	25,009	
OR学会だより	255,600	231,110	△ 24,490	
審査料等	318,000	271,000	△ 47,000	
報文集等	200,000	0	△ 200,000	
<計>	4,913,600	4,744,832	△ 168,768	
3. 国際協力費				
IAOR購入費	168,480	202,513	34,033	
IFORS会費	94,500	0	△ 94,500	
IAOR抄録代等	80,000	34,000	△ 46,000	
<計>	342,980	236,513	△ 106,467	
4. 研究活動費				
講演会開催費	120,000	110,000	△ 10,000	
研究部会費	150,000	135,000	△ 15,000	
支部費	686,000	944,400	258,400	
<計>	956,000	1,189,400	233,400	
5. 記念事業費	300,000	570,000	270,000	
6. 事業関係諸経費				
会議費	418,800	294,000	△ 124,790	
旅費交通費	377,000	222,580	△ 154,420	
通信配送費	577,000	425,200	△ 152,600	
給与・手当	1,215,000	902,971	△ 312,029	
<計>	2,588,600	1,844,761	△ 743,839	
7. その他費用				
雑費	128,000	67,998	△ 60,002	
予備費	50,000	0	△ 50,000	
<計>	178,000	67,998	△ 110,002	
<事業費合計>	10,729,180	10,200,699	△ 528,481	
II 運営費				
1. 事務所費				
事務所賃借料	1,283,520	1,283,520	0	
光熱水道料	297,960	340,935	42,975	
備品費	419,600	234,920	△ 184,680	
保証金償却費	0	213,920	213,920	
<計>	2,001,080	2,073,295	72,215	
2. 事務用諸経費				
会議費	274,500	241,560	△ 32,940	
旅費交通費	728,820	645,830	△ 82,990	
通信費	1,000,000	635,034	△ 364,966	
印刷費	400,000	249,602	△ 150,398	
消耗品費	200,000	450,087	250,087	
雑費	200,000	115,113	△ 84,887	
<計>	2,803,320	2,337,226	△ 466,094	
3. 人件費				
給与・手当	3,280,000	3,268,445	△ 11,555	
福利厚生費	0	174,526	174,526	
諸給	37,800	36,000	△ 1,800	
退職手当引当金繰入額	413,000	413,000	0	

特別会計へ1/4振替

特別会計へ1/4振替

<計>	3,730,800	3,891,971	161,171
4. 支払手数料			
事務委託費	600,000	600,000	0
振替手数料	12,000	24,935	12,935
<計>	612,000	624,935	12,935
5. 公租公課手数料	50,000	8,550△	41,450
6. 退職金	0	80,340	80,340
7. 会費徴収不能損	0	537,400	537,400
<運営費合計>	9,197,200	9,553,717	356,517
<当期歳出合計>	19,926,380	19,754,416△	171,964
<当期残高>	△ 44,380	△ 723,019	678,639

[3] 特別会計

歳入の部

科 目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
前年度より繰越金	999,952	992,669△	7,283	
一般会計より振替	0	1,526,213	1,526,213	
合 計	999,952	2,518,882	1,518,930	

歳出の部

科 目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
会 議 費		138,199		Norden米 日
旅 費 交 通 費		334,280		
事 務 費		291,200		
印 刷 費		68,364		
通 信 費		9,500		
消 耗 品 費		8,240		
倉 庫 借 料		15,000		
T I M S		126,386		
雑 費		1,500		
<計>	999,952	992,669△	7,283	
一般会計より振替	0	1,526,213	1,526,213	
<合計>	999,952	2,518,886	1,518,930	

3. 昭和49年度事業計画

1. 研究発表会、シンポジウムおよび総会

- (1) 研究発表会は春、秋2回開催し、春季は東京において、秋季は東北において開催する。さらに見学会を春、秋に研究発表会と同時に行なう。

特別テーマは春季は「資源問題」、秋季は「教育とOR」とする。

- (2) 定期総会は東京において行なう。

2. 刊行物

- (1) 「経営科学」を6号、「JORSJ」を4号発行する。
- (2) 研究発表アブストラクト集を2回発行する。
- (3) 報文集の編集及び発行を適宜行なう。
- (4) 「OR事典」の編集発行
学会の法人化を記念し(財)日本科学技術連

盟と協力して、「OR事典」の編集及び発行の作業を推進する。

3. 国際協力

- (1) 国内OR文献の欧文抄録の作成を通じIAOR誌の発行に協力する。
- (2) 昭和50年度に、オペレーションズ・リサーチ合同国際会議の日本開催のための準備を推進する。(詳細別記)
- (3) 来日するOR専門家との接触の機会を密にする。

4. 研究活動

システム・ダイナミックス、中小企業のOR部会の活動を引続き推進するとともに、政策分析、マネジメント・システム、交通システムの各部会を新設し、その活動を開始する。

5. 普及活動

月例講演会、講習会、座談会、その他のOR普及活動を適宜行なう。

6. 研究調査

適当な機関からの研究調査委託に応ずる。

7. 支部活動

各支部において研究会、講演会、見学等の活動を行なう。

8. 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第3回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞の選考を行なう。

9. 受賞推選

他の学協会の依頼に応じ、受賞候補者等の推薦に協力する。

10. 会員増強

会員増強活動を活発に行なう。

11. 他学協会との交流

他学協会との交流を積極的に進める。

12. オペレーションズ・リサーチ合同国際会議

- (1) 第7回国際OR会議開催準備

- 1) 「会議のしおり」を作成し配布を終わる。
- 2) 会議参加登録用紙の配布を完了する。
- 3) 会場設備の手配を完了する。
- 4) フィールド・トリップ、ワークショップの準備のため、研究活動を推進し、定例研究発表会で中間報告をする。
- 5) 広報活動を行なう。

- (2) 経営科学国際学会第22回大会開催準備

- 1) 会場、設備の手配を完了する。
- 2) 広報活動を行なう。

- (3) *OR in Japan* を刊行する。
- (4) 募金活動を推進する。

4. 昭和49年度収支予算書

自 昭和49年3月1日
至 昭和50年2月28日

[1] 総括表

区分	歳入予算額	歳出予算額	差引残高	摘要
一般会計	23,942,344	22,248,000	1,694,344	※特別会計歳出予算の中には、期繰越赤字(1,518,930)を含む。
特別会計	18,000,000	12,018,930	5,981,070	
合計	41,942,344	34,266,930	7,675,414	

[2] 一般会計予算書

歳入の部

科目	予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
I 会費収入				
正会員会費	8,640,000	6,300,000	2,340,000	
学生会員会費	624,000	432,000	192,000	
賛助会員会費	10,800,000	8,000,000	2,800,000	
入会金	250,000	370,000	△ 120,000	
<計>	20,314,000	15,102,000	5,212,000	
II 事業関係収入				
会誌頒布収入	504,000	720,000	△ 216,000	
資料等頒布収入	446,000	374,000	72,000	
IAOR収入	162,000	252,000	△ 90,000	
研究発表会収入	970,000	972,000	△ 2,000	
講演会参加料収入	0	220,000	△ 220,000	
<計>	2,082,000	2,538,000	△ 456,000	
III その他収入				
広告掲載料収入	1,200,000	1,572,000	△ 372,000	
預貯金利子	420,000	420,000	0	
雑収入	250,000	250,000	0	
<計>	1,870,000	2,242,000	△ 372,000	
<当期収入合計>	24,266,000	19,882,000	4,384,000	
前年度より繰越金	△ 323,656	399,363	△ 723,019	
<合計>	23,942,344	20,281,363	3,660,981	

歳出の部

科目	予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
I 事業費				
1. 研究発表会				
大会開催費	820,000	730,000	90,000	
大会関係印刷費	780,000	720,000	60,000	
<計>	1,600,000	1,450,000	150,000	
2. 学会誌等刊行費				
経営科学	2,268,000	2,580,000	△ 312,000	
J. O. R. S. J.	1,496,000	1,560,000	△ 64,000	
OR学会だより	423,000	255,600	167,400	
審査料等	640,000	318,000	322,000	
報文集等	627,000	200,000	427,000	
<計>	5,454,000	4,913,600	540,400	
3. 国際協力費				
IAOR購入費	148,000	168,480	△ 20,480	
IFORS会費	95,000	94,500	500	
IAOR抄録代等	80,000	80,000	0	
<計>	323,000	342,980	△ 19,980	
4. 研究活動費				
講演会開催費	112,000	120,000	△ 8,000	

研究会費	150,000	150,000	0	
支部費	1,186,000	686,000	500,000	
<計>	1,448,000	956,000	492,000	
5. 記念事業費	245,000	300,000	△ 55,000	
6. 事業関係諸経費				
会議費	360,000	418,800	△ 58,800	
旅費交通費	320,000	377,000	△ 57,000	
通信配送費	740,000	577,800	162,200	
給与・手当	2,960,000	1,215,000	1,745,000	
<計>	4,380,000	2,588,600	1,791,400	
7. その他費用				
雑費	67,000	128,000	△ 61,000	
予備費	150,000	50,000	100,000	
<計>	217,000	178,000	39,000	
<事業費合計>	13,667,000	10,729,180	2,937,820	
II 運営費				
1. 事務所費				
事務所貸借料	1,284,000	1,283,520	480	
光熱水道料	355,000	297,960	57,040	
備品費	220,000	419,600	△ 199,600	
<計>	1,859,000	2,001,080	△ 142,080	
2. 事務用諸経費				
会議費	300,000	274,500	25,500	
旅費交通費	841,000	728,820	112,180	
通信費	900,000	1,000,000	△ 100,000	
印刷費	500,000	400,000	100,000	
消耗品費	500,000	200,000	300,000	
雑費	150,000	200,000	△ 50,000	
<計>	3,191,000	2,803,320	387,680	
3. 人件費				
給与・手当	2,432,000	3,280,000	△ 848,000	
諸給	60,000	37,800	22,200	
退職手当引当金繰入額	0	413,000	△ 413,000	
福利厚生費	405,000	0	405,000	
<計>	2,897,000	3,730,800	△ 833,800	
4. 支払手数料				
事務委託費	400,000	600,000	△ 200,000	
振替手数料	24,000	12,000	12,000	
<計>	424,000	612,000	△ 188,000	
5. 公祖公親手数料	60,000	50,000	10,000	
6. 予備費	150,000	0	150,000	
<運営費合計>	8,581,000	9,197,200	△ 616,200	
<当期歳出合計>	22,248,000	19,926,380	2,321,620	

[3] 特別会計予算書

国際会議特別会計

歳入の部

科目	予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
前年度より繰越金	△ 1,518,930	999,952	△ 2,518,882	
募金収入	18,000,000	0	18,000,000	
合計	16,481,070	999,952	15,481,118	

歳出の部

科目	予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
研究会費	1,500,000	0	1,500,000	
会議費	260,000	140,000	120,000	
印刷費	490,000	68,000	422,000	
資料作成費	360,000	0	360,000	
通信費	600,000	10,000	590,000	
発送費	180,000	0	180,000	
旅費交通費	1,150,000	335,000	815,000	

消 耗 品 費	300,000	8,000	292,000
広 報 費	1,800,000	0	1,800,000
事 務 局 費	2,150,000	291,000	1,859,000
雑 費	210,000	147,952	62,048
募 金 経 費	1,500,000	0	1,500,000
小 計	10,500,000	999,952	9,500,048
前 期 繰 越 金	△ 1,518,930	0	△ 1,518,930
合 計	12,018,930	999,952	11,018,978

「経営科学」刊行回数縮減のお知らせ

学会活動のあらゆる面での経費が高騰し、そのあおりを受けて「経営科学」の年6回の発行を年4回に縮小せざるをえないはめに追いこまれました。まことに残念なことはありますが、ご諒承のほどお願い申し上げます。2年間分に近い未刊行の原稿をかかえている「JORSJ」は従来どおり年4回発行しますが、これとて頁数の削減を余儀なくされています。両誌を含めて学会誌のあり方等につきご意見賜われれば幸いです。
(編集委員会)

国際セミナーのお知らせ

An International Seminar with its objective the derivation of a five year plan for the development of Operational Research and Management Science will be held in

York, England from 8 to 11 April 1975

Those attending the Seminar will work in parallel on six different areas. They will produce reports showing the way in which these areas should develop and the resources necessary for such development in order for Operational Research and Management Science to make a real impact on the problems of society up to 1980.

Further information can be obtained from :

Jean Wheeler

Operational Research, Mantell Building

The University of Sussex,

Brighton BN1 9RF, England

Management Scienceスポーツ特集号への論文応募についてのお知らせ

TIMS(国際経営科学協会)では、*Management Science* という月刊専門誌を発行しております。このたび同誌はスポーツ活動へのORおよびMSの応用についての特集号を計画しておりますが、日本OR学会にも論文投稿の案内が来ました。

個人あるいは組織が行なっているスポーツ活動のいかなる面を取り扱ったものでもよく、これまでにORにとっては未踏に近いこの分野に新たなOR活動の場が開かれることを期待した企画とのことであります。

なお、応募論文はレフェリーを経て採否が決められます。締切りは12月20日。

応募希望の方は、学会事務局にご連絡ください。執筆要領をお送りします。